

1 事業概要

事務事業名		市立病院運営事業		課名	経営企画課	事業No.	379
				会計	病院事業会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			飯田市立病院中期計画			
				飯田市立病院新改革プラン			
法令・例規等							
事業目的		対象	飯田・下伊那（二次医療圏）の住民				
		意図	安全・安心で良質な医療の提供				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	中核病院として医療の質の向上と経営合理化に取り組んだ結果、経営状況が好転し2年続いた赤字決算を黒字化することができました。また、病院運営の基本方針を定める次期中期計画の策定や、地域包括ケア病棟の整備を実施しました。 1 診療体制の充実、医療安全の確保、がん診療、救急医療、産科医療の充実 2 患者中心の医療の実践 3 地域医療連携の推進、地域包括ケア病棟の運営・整備 4 職員が誇りを持って働ける職場づくり 5 病院機能の維持、施設長寿命化事業（3か年）着手【新】 6 防災・災害対策の強化 7 新改革プラン改訂版及び次期中期計画の策定		医療費用（給与費、材料費など）				12,874,858	
			医療外費用（利息の支払いなど）				169,623	
			資本的支出（施設改修、医療機器の整備など）				1,969,879	
	その他の経費				15,815			
	活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度
外来患者数		人/日	940	919	911			
入院患者数		人/年	113,747	112,767	115,495			
救急車受入件数		件/年	3,250	3,236	3,464			
分娩件数		件/年	1,242	1,306	1,181			
30年度 決算 (千円)	予算額		15,525,928	特定財源内訳及び補正事項				
	決算額		15,030,175	(国) 臨床研修費補助金(定額)、(県) がん診療連携拠点病院補助金(定額)、(県) 地域医療介護総合確保基金事業補助金(1/3)ほか (地) 病院事業(充当率100%)、(そ) 一般会計からの負担金及び出資金 ※一般財源は診療報酬など ※事業費は人件費を含む額 29→30 繰越額 105,066千円、30→1 繰越額 211,776千円				
	財源の 状況	国庫支出金	12,674					
		県支出金	89,840					
		地方債	543,977					
		その他	1,447,787					
一般財源		12,935,897						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	72	0	0	0	0	0	15,525,928	15,030,175	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		当院が2か年連続して赤字決算となったことを踏まえ、病院経営コンサルタントを活用し、全国的な水準で当院の状況を分析し、医療の質の向上と経費節減に関する改善計画（新改革プラン改訂版）を策定し、取り組みを進めてきました。その結果、多くの部署で成果が上がり、黒字決算に転じることができました。今後は、この取り組みを一過性のものでなく、継続的で強固なものとするのが課題と考えられます。							
上記の課題解決のための有効策		具体的な成果として、救急患者の積極的受入れや紹介患者の早期受入れ等による入院患者増加、リハビリ・薬剤管理指導・栄養食事指導等の増加、入退院支援の拡大などが挙げられますが、いずれもマンパワーと院内多職種連携が重要です。これらを継続するためには、業務マニュアルの明確化や標準化と定点観測による数値分析などが有効と考えられます。							
次年度に向けての取り組み		30年度の取り組みの継続性を高めるために、業務マニュアルの明確化、業務の効率化、標準化を図ります。引き続き経営コンサルタントを活用し、全国水準での点検を実施し目標を定め、さらなる改善を図ります。また、令和2年度に予定されている診療報酬改定の情報をいち早く分析し、対応を検討します。							